

「忘れない 豊かな森と 火の怖さ」

☎ 富士見消防署 ☎61-0119

山火事は、地理的、地形条件から一度発生すると焼ける面積が広範囲に及ぶ危険性が高い火災です。一人ひとりが森林の大切さを認識し、防火意識を高めることで山火事を防ぎましょう。

●山火事(林野火災)を未然に防ぐために、次のことに注意しましょう

- ・ 枯草がある場所では、不用意に火を使用しないようにしましょう。
- ・ たき火や土手焼き等を行う際には、消防署へ届出を行いましょ。
- ・ 火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火しましょ。
- ・ たばこは指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消すとともに、ポイ捨てをしないようにしましょう。
- ・ 風が強く吹く日や乾燥している日は、火を使用しないようにしましょう。



山火事を発見した際は、自分の身の安全を考え無理に消火しようとせず、その場から速やかに逃げるとともに119番通報を行ってください。

—消費者見守り情報 No.96—

～「アポ電強盗」とは? 手口や内容を知って対策しよう!～

☎ 住民福祉課 住民係 ☎62-9112 茅野市消費生活センター ☎75-8188
長野県中信消費生活センター ☎0263-40-3660

「オレオレ詐欺」や「振り込め詐欺」などに続いて、「アポ電強盗」という詐欺が増えているのをご存知ですか?

●「アポ電強盗」とは

オレオレ詐欺や振り込め詐欺などの“アポ電詐欺”の新しい手口で、指定された場所で現金の受け渡しをするのではなく、現金を自宅に取りに来る(奪いに来る)特殊詐欺のことをいいます。この詐欺は、はじめからアポ電強盗を狙っての犯行ではなく、条件に合わせて犯行の手口を変えている可能性が高いようです。

●アポ電強盗の手口とは

犯行グループはまず“アポ電詐欺”を行ってきます。息子などの身内の者になりすまして電話をかけてきて、警戒心を緩めさせ、詐欺が可能かどうかをチェックします。

1回目の電話では自身の電話番号が変わったことだけを伝え、やや時間をおいて2回目の電話で金銭を要求するようです。この電話でのチェックにより、詐欺が可能だと判断した場合には、次のことを確認してきます。

- ・ 高齢者の一人暮らし、または夫婦で暮らしているか
- ・ 家に多額の現金や資産があるか
- ・ 住所はどこか(住所の特定)



●アポ電強盗の対策は

「電話に出ない」ことが何よりも効果的な対策と言えますが、実際には、いつ誰からかかってくるのか分からない電話に出ないというのは難しいものです。

そこで身内の電話番号やよく使う電話番号を自宅の電話機に登録しておき、登録していない番号や非通知でかかってきた場合には、相手が名乗ったとしても個人情報や自宅の住所などは絶対に教えてはいけません。

また、警察官や配送業者などが名前や住所を電話で聞いてくることは絶対にありませんので、疑いを持つようにしましょ。

詐欺の形は年々巧妙化していて、気を付けようと注意喚起していてもなかなか被害は減りません。

そして、オレオレ詐欺や振り込め詐欺の逮捕者が多くなってきている最近では、現行犯逮捕を恐れ自宅に強盗に入る「アポ電強盗」が増えていると言われています。命の危険もあるアポ電強盗ですので、できる限りの対策をして被害にあわないようにしましょう。